

令和2年度 日本原子力学会 北関東支部 講演会 実施報告

開催日時：令和3年2月9日（火）14:00～16:10

開催場所：Zoom ウェビナー

令和2年度の北関東支部講演会を令和3年2月9日（火）にZoom ウェビナーにて開催いたしました。当日は、71名と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

講演会のプログラムは以下のとおりです。

～ 第Ⅰ部 ～

- ① 逢坂 正彦 氏〔日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門〕
「東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所燃料デブリ等分析について」
～ 燃料デブリ分析及び評価へのJAEAの貢献 ～
- ② 佐々木 新治 氏〔日本原子力研究開発機構 高速炉・新型炉研究開発部門〕
「福島第一原子力発電所廃炉に向けた取り組み」
～ 大洗研究所燃料材料試験施設における試験と今後の展開 ～
- ③ 佐藤 修彰 氏〔東北大学 原子炉廃止措置基盤研究センター〕
「東北大学における燃料デブリに関する基盤研究への取り組み」
～ 1F廃炉の課題解決へ向けて ～

～ 第Ⅱ部 ～

- ④ パネルディスカッション
「燃料デブリ取出しに向けた分析・評価の現在とこれから」

第Ⅰ部では、逢坂氏、佐々木氏及び佐藤氏より、燃料デブリ取出しに向けた分析の現状や課題についてご講演いただきました。また、第Ⅱ部のパネルディスカッションでは、講演者の方々に、燃料デブリの取出しに向けた、分析技術、分析と評価、分析施設、分析に係る人材育成について議論頂きました。分析・評価の重要性や分析施設や人材育成に係る課題について考える良い機会になったと思います。北関東支部の学会員のみならず聴講者にとって理解を深める有意義な機会となりました。